



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月7日

上場会社名 株式会社コロプラ

上場取引所 東

コード番号 3668 URL <https://colopl.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 上席執行役員 CEO （氏名）宮本 貴志

問合せ先責任者 （役職名）取締役 上席執行役員 CFO （氏名）原井 義昭 TEL 03(6721)7770

半期報告書提出予定日 2025年5月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	14,043	10.6	1,413	301.1	2,025	151.4	177	0.5
2024年9月期中間期	12,702	△20.1	352	△81.9	805	△49.9	177	△81.0

（注）包括利益 2025年9月期中間期 77百万円（242.5％） 2024年9月期中間期 22百万円（△96.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	1.39	—
2024年9月期中間期	1.38	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	75,919	68,940	90.8
2024年9月期	79,805	71,387	89.4

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 68,933百万円 2024年9月期 71,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年9月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年9月期中間期	130,230,769株	2024年9月期	130,144,640株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	1,778,904株	2024年9月期	1,778,834株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年9月期中間期	128,408,859株	2024年9月期中間期	128,321,127株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「“Entertainment in Real Life” エンターテインメントで日常をより楽しく、より素晴らしく」をMissionとし、エンターテインメントを通じ、人々の何気ない日常をより豊かにすることを目指しております。当中間連結会計期間において、エンターテインメント事業では、ユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識した既存タイトルの運用及び新規タイトルの開発に注力してまいりました。投資育成事業では、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資及び売却に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は14,043百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益は1,413百万円(同301.1%増)、経常利益は2,025百万円(同151.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は177百万円(同0.5%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

a. エンターテインメント事業

エンターテインメント事業は、主にスマートフォン向けゲームの開発・運営を行っております。

当中間連結会計期間において、スマートフォン向けゲームでは、「ドラゴンクエストウォーク(企画・制作:株式会社スクウェア・エニックス、開発:当社)」が好調に推移し、引き続き当社グループの連結業績に貢献しました。2024年8月にリリースした「フェスバ+」や、2025年1月にリリースした「異世界∞異世界」の売上寄与があったものの、一部既存タイトルにおける配信期間の長期化に伴う売上逦減により、減収となりました。また、新作リリースに伴い広告宣伝費が増加いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間において、売上高は12,008百万円(前年同期比2.7%減)、営業損失は167百万円(前年同期は479百万円の営業利益)となりました。

b. 投資育成事業

投資育成事業は、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っております。

当中間連結会計期間において、主に株式会社タイミーの株式売却等による収益が発生しました。また、保有する営業投資有価証券の一部について減損処理を行いました。

以上の結果、当中間連結会計期間において、売上高は2,034百万円(前年同期比467.8%増)、営業利益は1,579百万円(前年同期は128百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は65,485百万円(前連結会計年度末比1,781百万円減)となりました。これは主に、売掛金及び契約資産と営業投資有価証券が減少したことによるものであります。

また、固定資産は10,433百万円(同2,104百万円減)となりました。これは主に、投資その他の資産が減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は75,919百万円(同3,885百万円減)となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は5,294百万円(同1,273百万円減)となりました。これは主に、未払金が増加したことによるものであります。

また、固定負債は1,684百万円(同164百万円減)となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は6,979百万円(同1,438百万円減)となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は68,940百万円(同2,447百万円減)となりました。これは主に、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,188百万円減少し、47,265百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは2,021百万円の増加(前年同期は1,544百万円の増加)となりました。これは主に、投資有価証券評価損益(△は益)1,449百万円及び売上債権の増減額(△は増加)660百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは1,450百万円の減少(前年同期は2,646百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,039百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは2,896百万円の減少(前年同期は562百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額2,564百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示はいたしません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,250	50,523
売掛金及び契約資産	4,206	3,442
営業投資有価証券	10,166	9,481
棚卸資産	540	555
その他	2,119	1,499
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	67,267	65,485
固定資産		
有形固定資産	1,641	1,561
無形固定資産	15	32
投資その他の資産		
その他	10,892	8,850
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	10,880	8,839
固定資産合計	12,537	10,433
資産合計	79,805	75,919
負債の部		
流動負債		
未払金	2,734	1,776
未払法人税等	245	378
その他	3,588	3,138
流動負債合計	6,567	5,294
固定負債		
長期借入金	999	666
資産除去債務	759	718
その他	90	299
固定負債合計	1,849	1,684
負債合計	8,417	6,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,635	6,656
資本剰余金	6,373	6,394
利益剰余金	61,764	59,375
自己株式	△4,645	△4,645
株主資本合計	70,128	67,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	814	904
為替換算調整勘定	437	249
その他の包括利益累計額合計	1,251	1,153
非支配株主持分	7	6
純資産合計	71,387	68,940
負債純資産合計	79,805	75,919

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	12,702	14,043
売上原価	9,165	8,745
売上総利益	3,537	5,298
販売費及び一般管理費	3,184	3,884
営業利益	352	1,413
営業外収益		
受取利息	160	181
為替差益	79	289
投資有価証券売却益	226	38
投資事業組合運用益	15	50
デリバティブ運用益	17	—
雑収入	45	77
営業外収益合計	544	636
営業外費用		
支払利息	1	4
投資有価証券評価損	54	—
投資有価証券売却損	21	15
雑損失	14	4
営業外費用合計	91	24
経常利益	805	2,025
特別損失		
減損損失	29	1
投資有価証券評価損	—	1,449
特別損失合計	29	1,451
税金等調整前中間純利益	776	574
法人税等	598	398
中間純利益	177	176
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	177	177

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	177	176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△182	90
為替換算調整勘定	27	△188
その他の包括利益合計	△155	△98
中間包括利益	22	77
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	21	79
非支配株主に係る中間包括利益	0	△1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	776	574
減価償却費	127	132
減損損失	29	1
為替差損益(△は益)	△80	△276
投資有価証券売却損益(△は益)	△204	△23
投資有価証券評価損益(△は益)	54	1,449
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	206	△66
売上債権の増減額(△は増加)	845	660
棚卸資産の増減額(△は増加)	△125	△46
仕入債務の増減額(△は減少)	△67	△60
未払金の増減額(△は減少)	△90	△883
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38	△84
前受金の増減額(△は減少)	45	△153
前払費用の増減額(△は増加)	117	384
その他	55	167
小計	1,649	1,775
利息及び配当金の受取額	168	177
利息の支払額	△1	△4
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△272	73
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,544	2,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,412	△1,039
有形固定資産の取得による支出	△101	△39
資産除去債務の履行による支出	—	△42
無形固定資産の取得による支出	△5	△22
投資有価証券の取得による支出	△2,941	△775
投資有価証券の売却による収入	1,736	425
関係会社出資金の払戻による収入	—	43
その他	76	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,646	△1,450
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△333
配当金の支払額	△2,565	△2,564
その他	2	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△562	△2,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	159	136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,505	△2,188
現金及び現金同等物の期首残高	58,167	49,454
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	184	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	56,845	47,265

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下、「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,344	358	12,702	—	12,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,344	358	12,702	—	12,702
セグメント利益又は損失(△)	479	△128	351	1	352

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,008	2,034	14,043	—	14,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,008	2,034	14,043	—	14,043
セグメント利益又は損失(△)	△167	1,579	1,412	1	1,413

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。